

見開き調整のための空白ページです

# ローマ字

大文字	A	I	U	E	O			
	あ a	い i	う u	え e	お o			
K	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
S	さ sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ sya [sha]	しゅ syu [shu]	しょ syo [sho]
T	た ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tya [cha]	ちゅ tyu [chu]	ちょ tyo [cho]
N	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
H	は ha	ひ hi	ふ hu [fu]	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
M	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
Y	や ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo			
R	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
W	わ wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を (o) 《wo》			
	ん n							
G	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
Z	ざ za	じ zi [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya [ja]	じゅ zyu [ju]	じょ zyo [jo]
D	だ da	ぢ (zi) [ji]	づ (zu)	で de	ど do	ぢゃ (zya) [ja]	ぢゅ (zyu) [ju]	ぢょ (zyo) [jo]
B	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
P	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo

[ ]の中の書き方も使うことができる。( )の中の書き方は、重ねて出しているもの。  
《 》の中は、とくべつな発音に使う。



ローマ字は、もともとヨーロッパで生まれ、今は南北アメリカやヨーロッパを中心<sup>しん</sup>に、広く使<sup>つか</sup>われている文字です。日本語を書き表<sup>あらわ</sup>すためにも、わたしたちの身<sup>み</sup>の回りのさまざまところで使われています。

---

1 1ページのローマ字の表を見てみましょう。あ行の音は、  
a・i・u・e・oと1字で表されています。か行から下の音は、  
2字以上が組み合わされています。

表をたてに見てみましょう。あ段の音には、全部「a」が  
付いています。次に、横に見てみましょう。か行の音には、  
全部「k」が付いています。ほかの段や行には、どんなと  
くちょうがあるでしょうか。

▶ 表を見ながら、□や○の中に文字を入れ、声に出して読  
んでみましょう。

ame → □aki → □aru → □ane → □ami  
あめ かき さる たね なみ

n○mi → n○wa → n○ma → n○ko → n○ri  
なみ にわ むま ねこ のり

10

2 ローマ字には、次のような決まりがあります。

①「きゃ、きゅ、きょ」などの音は、「kya, kyu, kyo」のよう  
に3字で書き表します。

▶ 声に出して読みましょう。



tyawan



densya



kingyo

▶ ローマ字で書きましょう。

おちゃ

otya

としょかん

tosyokan

じてんしゃ

\_\_\_\_\_

15

② のばす音は、「おかあさん」→「okâsan」のように、ふつう、  
a・i・u・e・o の上に「^」を付けて書き表します。

▶<sup>ちゅうい</sup>注意して読みましょう。

otôsan おとうさん      onêsan おねえさん

③ つまる音は、「きっぷ」→「kippu」のように、次の音の初め<sup>はじ</sup>  
の字を重ねて書き表します。

▶ 声に出して読んでみましょう。



kitte



koppu



gakkô

▶ ローマ字で書きましょう。

しっぽ

      
      
      
sippo

たっきゅう

      
      
      
takkyû

なっとう

      
      
    

10

④ 「単位(たんい)」、「今夜(こんや)」など、はねる音「ん(n)」  
の次にa・i・u・e・o や y がくるときは、「n」の後に「'」  
を付けます。

単位 → tan'i (tani では、「たに」と<sup>くべつ</sup>区別がつきません。)

今夜 → kon'ya (konya では、「こにゃ」と読めてしまい  
ます。)

⑤ ローマ字には、「A」のような大文字と、「a」のような小文字があります。人名や地名などを書く場合、ふつうは、<sup>さいしょ</sup>最初の一文字を大文字で書きます。また、<sup>ことば</sup>言葉をつなぐ<sup>しるし</sup>印として「-」を付けることもあります。

Inoue Kazuko      Yamada Ken'iti

Hokkaidô      Kyûsyû      Nagano-si

地名などは、全部を大文字で書くこともあります。

TÔKYÔ      ÔSAKA      NAGOYA

5

3 「し」や「ち」のように、書き方が二つあるものがあります。

1ページの表を見て、たしかめましょう。

10

しま → sima [shima]      みち → miti [michi]

つる → turu [tsuru]      ふた → huta [futa]

▶ わたしたちのまわりでは、[ ] 内の書き方が多く使われています。さがしてみましよう。



▶ 教室にあるものを、ローマ字を使って書いてみましょう。<sup>15</sup>

[ ] 内の書き方でも書いてみましょう。



▶自分の名前や学校名をローマ字で書いて、めいしを作ってみましょう。

Hirota Kumiko  
Minami Shôgakkô  
3-nen 2-kumi

5

### コンピュータにローマ字で入力するとき

「し」「ち」「ふ」など、ローマ字での書き方が二つあるものは、どちらの打ち方でもかまいません。

S I →し  
S H I

T I →ち  
C H I

H U →ふ  
F U

10

「ぢ」や「づ」、「を」、「ん」は、ふつう、次のように打ちます。

ぢ…D I

づ…D U

を…W O

ん…N N

ただし、コンピュータによっては、ちがう打ち方をすることがあります。

15